

# 政策分析シート（平成29年度）

政策名	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進	政策No	14	部名	総務企画部	
関連部名	区民生活部、監査事務局	部長名	五味	内線	2100	
行政評価事業体系	分野	計画推進のために				
目的	区政に関する情報を区民に幅広く提供することにより、区民への説明責任を果たすとともに、区民の区政への関心と信頼を高め、区と区民の協働による開かれた区政を実現する。 また、総合相談窓口の設置等により、区民の様々な要望・相談等に対応するとともに、夜間や休日の窓口開設等により区民の利便性の向上を図る。					
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		26年度	27年度	28年度		
標	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み 目標値(38年度)	
	ホームページ訪問回数（月平均）	221,431	266,295	279,600	289,300	384,800 単位：回
	区政に関心がある区民の割合（％）	54.1	52.4	53.8	55.0	57.0 荒川区政世論調査結果より
	窓口の夜間延長・日曜開庁の取扱件数	13,251	13940	13295		窓口夜間延長（毎週水曜）日曜開庁（第2・4日曜）の取扱件数
	包括外部監査による指摘事項の改善率（％）	60.4	93.6	78.4		改善事項 / 指摘事項

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費		1,856,492		地方税等		0	
	物件費		631,539		国庫支出金		54,182	
	維持補修費		1,131		都支出金		10,398	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		190,280		使用料及び手数料		101,743	
	減価償却費		4,682		其他行政収入		8,747	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		175,070	
	賞与・退職給与引当金繰入額		119,395		行政収支差額(a)-(b)=(c)		2,628,450	
	其他行政費用		0		金融収支差額(d)		35	
行政費用合計(b)		2,803,520		通常収支差額(c)+(d)=(e)		2,628,415		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		2,628,415		
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	流動資産				流動負債		77,004	
	収入未済		94		還付未済金		0	
	不納欠損引当金		0		特別区債		0	
	その他の流動資産		124		賞与引当金		59,917	
	有形固定資産		898,752		その他の流動負債		17,087	
	土地		842,433		固定負債		759,076	
	建物		162,034		特別区債		0	
	建物減価償却累計額		105,715		退職給与引当金		743,371	
	工作物等		4,259		その他の固定負債		15,705	
工作物等減価償却累計額		4,259		負債の部合計		836,080		
無形固定資産		0		正味財産		401,691		
建設仮勘定		14,850		正味財産の部合計		401,691		
その他の固定資産		324,139		負債及び正味財産の部合計		1,237,771		
資産の部合計		1,237,771						

## 政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区政に関する情報について、多様な媒体を活用し、幅広く区民に提供できるよう努めている。また、区政情報に関する総合的な相談にも応じるとともに、保有している個人情報の保護について、万全を期すよう努め、慎重かつ適切な情報公開制度の運用を行っている。</p> <p>窓口サービスについては、区民の生活様式の多様化等により、サービスの提供日・提供時間等の拡充に関する要求が強まっている。</p>
課題	<p>情報提供媒体の利点・欠点を活用・補完しながら、さらに工夫していく必要がある。また、情報公開制度の運用については、さらに効果的な事務執行を図ることが必要である。</p> <p>窓口サービスでは、区民が的確かつ迅速に、サービスを快適に受けることができるよう、休日及び夜間の開庁時間やサービス内容を見直し、職員の意識改革を含め効果的な執行を図ることが必要である。</p> <p>契約制度の見直しや監査等の充実により、区政運営の効率化・合理化を図り、信頼される区政運営を行っていく。</p>
今後の方向性	<p>区民への説明責任を果たすため、区政情報を積極的に分かりやすく発信するとともに、新たな情報技術の活用するなど、更なる充実を図る。</p> <p>透明性の高い公正な区政運営を進めるとともに、区民のニーズに迅速かつ適切に対応する信頼される区役所づくりに努めていく。</p>

## 政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	29年度設定	30年度設定	
区政に関する情報提供の拡充	重点的に推進	重点的に推進	区民とともに築く開かれたまちづくりを進めるためには、基礎自治体の説明責任を果たすとともに、区政への区民参加を促進していく必要がある。その基礎となる「区政に関する情報提供」は極めて重要度の高い施策である。
窓口サービス等の充実	重点的に推進	重点的に推進	区民との第一線の窓口となるため、サービス向上に努める。
事務の適正・公正な執行	継続	継続	事務改善やチェック機能の強化等を通じて、事務の適正、公正な執行に引き続き努める。
統計・調査の推進	継続	継続	区民生活全般にわたって各種の基礎資料が得られる統計調査は必要不可欠なものであり、法定受託事務であることを前提に今後も継続して実施する。
各種団体等との円滑な連携	継続	継続	区内地域団体等との一層の連携と信頼関係の強化を図る。
監査機能の充実	推進	継続	監査実施方法等の改善を図りながら、引き続き、公正で合理的かつ効率的な区行政を確保する。
事務の共同処理	継続	継続	他区との共同処理を行うことにより、事務の効率化を図る。